



# ワン! モア ヒューストン

Vol.2 オスカーのための動物病院探し

川原志津香(家庭犬しつけインストラクター)

犬と暮らしていると、動物病院のお世話になるものです。子犬は生後5ヶ月ぐらいまでの間に3回は予防注射を受けます。予防注射の種類によって有効期間は異なりますが、成犬も1年から3年おきに動物病院で再接種を受けます。また、犬も体調を崩したり怪我をしたりすることがあります。下痢をした、咳が出る、目を痒がるといった症状が続く場合や、足の裏を切ってしまった、骨折をしてしまったような場合は病院で治療を受けます。

突然具合が悪くなって焦ることがないように、私は犬を連れて引越をしたときは、早めにかかりつけの動物病院を探すように心がけています。

ではどのように動物病院を探せば良いのでしょうか？私はまず自宅の周りの動物病院を探してみることから始めました。車で走っていて偶然見かけることもありましたが、Googleマップで”Animal Hospital”と検索すると自宅から車で10分圏内に動物病院が10軒以上見つかりました。自宅周りで犬と暮らしている人にどこの動物病院にかかっているかを聞いてみたりもしました。インターネットの口コミ評価も参考にしました。こうして調べていくと、たくさんの方が手に入ります。

私がかかりつけの動物病院を決める際に特に大切に思っていることが二つあります。一つは獣医さんとの関係、もう一つは自宅からの距離です。動物病院の規模や獣医さんの



▲いざ、緊張しながら、動物病院へ

人柄によっては、犬の症状や今後の治療について時間をとって話をしいくこともあります。一方で、限られた時間とはいえ、飼い主の話聞いて治療の選択肢を教えてください。ベストな方法を一緒に考えてくれる獣医さんもいます。大きな言い方をすれば、犬の命に関わることもかもしれませんから、この人なら安心して話が聞ける、相談できると思える人にホームドクターになってもらいたいと思っています。こればかりは、自分で確かめてみるしかありません。情報収集をして動物病院の目星をつけたら、引越し後の犬の健康診断のために予約を取り、獣医さんと話をしてみることにしています。

今回の引越後も、オスカーのために良いと思った動物病院を訪れてみました。そこは、アメリカ人の友人が自分の犬のかかりつけの動物病院にしていると教えてくれたところで、女性の獣医さんが一人で診療している動物病院でした。日本からきた話を興味深そうに聞いた上で、今後必要な予防注射についてもわかりやすく説明してくれました。オスカーは日本の保護団体から4歳のときに引き取った犬なのですが、他人も他犬も苦手です。必要なケアができるように口輪にも慣らしてありますが、そのことについても理解を示してくれて、オスカーが一番診察を受けやすい方法を考えましようと言ってくれたことが、この先生をホームドクターにしようと思った決定打でした。

こうしてオスカーのための動物病院が無事決定。欲を言えばもう少し自宅から近い場所が良かったのですが、安心して日頃の相談ができることを重視することにしました。緊急の場合に備え、自宅から近い救急病院も一度下見にも出かけました。備えあれば憂いなし、です。



▲診察台の上でご褒美をもらうことで、動物病院に慣れていきます

## 食うすどん

ドアの向こうはインド 本格インド料理店  
「Bombay Palace Indian Restaurant」

それは、ちょっと寂れた感じの、アメリカの小さい町ならどこにでもあるようなストリップモールのレストラン。駅前留学か、どこでもドアか、一步中へ入るとそこはまるでインド(行ったことないけど)。入り口には、新婚さんが座って写真を撮りそうな白いレースと白い花で飾られたおしゃれなベンチがあり、部屋の真ん中の天井からは重々しいドレープが吊り下がってインドの宮殿風だ(行ったことないけど)。

ニコニコ顔で迎えてくれたのは、小太りの若いインド人だ。「2人」と指で伝えると、テーブルがいいかボックスがいいか、訊かれた。ボックスを選ぶと、好きな席にどうぞ、と言うので、ボックス席に沿って奥へ進む。真ん中あたりの席に座ろうと近づいたが、磁石のプラスチックがプラスチックに近づいた時のように身体がフイッと離れた。白いテーブルクロスのちょうどお腹辺りの部分に大きなシミがあったから…。何気ないふうを装って次のテーブルに近づく。そのテーブルクロスも汚れていたが、そのこのほうがマシだったのでそこに座った。これぞインドか？(行ったことないけど。)店の奥にしたらえられたバーの向こうには大きなテレビが置かれ、 Bollywood ダンスを流し続けてインドの雰囲気盛り上げ(ように)している。

席に着くと、「ナンは、プレーン、バター、ガーリックのどれがいい？」と訊かれたので、ガーリックを選ぶ。ウェイトーはにっこり笑ってうなずくと、「じゃあ、どうぞ」と言って店の奥を指さした。その方を見ると、Lunch Buffetの文字が。気付かずに入ったのだが、ランチはビュッフェじゃないらしい。(あるかもしれないが、多分ほとんどの人がビュッフェなのだろう。)

はっきり言って、メニューに書かれたインド料理の名前と説明を見てもどんな料理かわからないので、ビュッフェは大歓迎だ。早速座ったばかりの席から立ちあがってビュッフェに向かう。テーブルクロスとは対照的に、お皿は真っ白でピカピカに磨かれ清潔そう。その隣でインド料理が「さあ、来い！」と私を待ち構えている。



レタス、めっちゃめっちゃ辛い玉ねぎ(食べ終わってからウェイトーに「これは辛いよ」と言われた。遅いよ。)、3種類のソース、豆腐のミートボール風、ポテトのサモサ、白いライス、チキンチャーハン、レンディカレー、野菜カレー、チキンカレー、ゴートカレー(超おススメ)、タンドリーチキン、ハチミツの海で溺れているドーナツホール、ライスプディング…などなど。インド料理のコースを楽しむ品ぞろえで、どれも本格的なインド料理だった(行ったことないけど)。席に戻ってくるとテーブルに置かれていたナンもとても美味しかった。インド料理初心者には、このようにいろいろな料理を少しずつ味わえるビュッフェスタイルは入門編としては最適だ。

ウェイトーと目が合ったので、「これ、あなたが作ったの？」と訊くと、「自分は食べ専。作ったのはお父さん。」とのこと。お父さんが料理を作り、息子が味見と店番を担当している店だった。「どの料理も美味しい。」と言うと、ニコニコして「Very authentic!」と応えた。

ところで、さっきからしつこく「行ったことがないけど」と繰り返しているくせに、なぜこの店が「本格的なインド」であると思ったのか？それは、私たちが店に入ったときにいた8人連れのお客さんが全員インド人だったから。そして、私たちの後にこの店に入ってきたお客さん5組も全員インド人だったから。つまり、この店は、インド人に「本格的なインド料理店であるぞよ!」というお墨付きをもらっている店だと言えるのではないかな。インド人が認める本格インド料理。内装もテーブルクロスも含めて、インド人にとってこの店はリアルインドなのだろう。

ひとり\$15.99(プラス税)で、腹も懐もすっかり満足した私は、目にこびりついた Bollywood ダンスのステップでドアを出てテキサスに戻った。

(編集委員 佐藤暁子)

[Bombay Palace Indian Restaurant](#)  
829 Mason Rd # 265-270, Katy, TX 77450